

イチオシ!

M OVIE

『第7回UNHCR難民映画祭』

2011年、紛争や迫害などで新たに430万人が祖国からの避難を余儀なくされ、うち80万人が“難民”となった。現在、世界中で難民として暮らす人々は4,300万人。今年で7回目を迎える「UNHCR難民映画祭」では、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が映画を通じて難民の現状を訴える。チベット難民の少年の日常を追った『オロ』、紛争から逃れるためにコンゴ民主共和国からアメリカに渡った女性の半生を描いた『ローズとその家族—戦火を生き抜いた一家の軌跡—』など全15作品を上映。ゲストによるトークイベントも開催予定だ。



© 7th UNHCR Refugee Film Festival

会期：9月29日(土)～10月8日(月・祝)
 会場：東京都内6カ所(青山学院アスタジオ、セルバンテス文化センター東京、イタリア文化会館、グローバルフェスタJAPAN2012、明治大学駿河台／和泉キャンパス)
 URL：http://unhcr.refugeefilm.org/
 問：国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所
 TEL：03-3499-2011

E VENT

『ナマステ・インディア2012』

2012年に国交樹立60周年を迎えた日本とインド。その記念事業の一環として、インド文化を紹介するイベントが開催される。カレーに代表されるインド料理はもちろん、サリーなど民族衣装の着付けやヨガなどを体験できる。ステージで披露される本場の古典舞踊や民族音楽も必見だ。日本にいながらインドを丸ごと体験できる二日間。

会期：9月22日(土)10時～20時、9月23日(日)10時～19時半
 会場：代々木公園、たばこと塩の博物館(東京・渋谷)
 URL：http://www.indofestival.com/
 問：ナマステ・インディア実行委員会
 TEL：025-752-2396

B OOK

『平和を目指す君に ネパールとアフガニスタンで考えた抑止力と平和構築』

国連、外務省、JICA、NGOなどで、20年にわたり平和構築分野の支援に携わってきた著者。2007年にはNATO(北大西洋条約機構)文民代表部日本政府連絡調整員としてアフガニスタンのカブールに赴任。3年半の滞在中に現地の人々との出会いを通じて実感したのは、国を立て直すプロセスの中心となるべきなのは、名もなき“一般の人々”だということ。多様な立場から国際協力に携わった著者ならではの視点で、開発途上国に対する平和構築支援の在り方を考察した一冊。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

小泉尊聖 (JICA専門家) 著
 文芸社
 1,470円(税込)

B OOK

『グラミンのソーシャル・ビジネス 世界の社会的課題とどう向き合うか』

貧困削減など社会的課題の解決を目指す「ソーシャル・ビジネス」。本書では、ノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏が創設したバングラデシュのグラミン銀行誕生の経緯や発展の歴史などを通じて、近年ますます多角化するグラミン式のソーシャル・ビジネスを解説。グラミン・テレコムによる携帯電話を利用した女性の自立支援プログラムや、株式会社雪国まいたけとの栄養改善プログラム、さらにバングラデシュ以外の国へと広がった経済的自立支援プロジェクトなど、さまざまなソーシャル・ビジネスの手法を知ることができる。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

大杉卓三、アシル・アハメッド 著
 集広舎
 1,680円(税込)